

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
544	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
<b>題名（原題／訳）</b>	
Drinking behaviour among men and women in China: the 2007 China Chronic Disease and Risk Factor Surveillance. 中国 2007 年における慢性疾患と危険因子サーベイランス：中国における男女の飲酒行動	
<b>執筆者</b>	
Li Y, Jiang Y, Zhang M, Yin P, Wu F, Zhao W.	
<b>掲載誌（番号又は発行年月日）</b>	
Addiction. 2011;106:1946-56.	
<b>キーワード</b>	
中国、アルコール、多量飲酒、飲酒行動	
<b>要 旨</b>	
<b>目的：</b> 飲酒行動に関する情報を収集し、飲酒頻度、通常の飲酒量と多量飲酒行動との関連を調べるために、15 歳から 69 歳の中国人に調査を行った。	
<b>計画：</b> 多段階クラスタサンプリング法によって全国代表標本を選定した。データは対面式の面接法により、中国慢性疾患と危険因子サーベイランスの一環として収集された。 設定：回答者は 2007 年 8 月から 10 月の期間に 31 つの省/地域自治/自治体の中から 160 地区が無作為に選択された。	
<b>対象者：</b> 49,527 人の中国在住の人（15 から 69 歳）を対象に加重解析を実施した。	
<b>測定：</b> 最近の飲酒状況、普段の飲酒量、多量飲酒エピソードの一年の中央値、大量飲酒の割合、現在飲酒者における飲酒回数と多量飲酒回数を測定した。	
<b>結果：</b> 男性、女性、全体の現在飲酒の有病率は各々 55.6%、15.0%、35.7%であった。男性は飲酒一日あたり平均 47.8 g のアルコールを消費する一方、女性は平均 19.1 g を消費した。多量飲酒エピソードの年間中央値は男性 5.6 回、女性 2.4 回であった。現在飲酒者では、過度飲酒、頻回飲酒、多量飲酒は各々男性では 62.7%、26.3%、57.3%、女性では 51.0%、7.8%、26.6%であった。ロジスティック回帰では多量飲酒は男女ともに飲酒頻度と強く関連し、飲酒量は飲酒頻度とともに増加していた。	
<b>結論：</b> 過度の飲酒、頻回飲酒、多量飲酒などの行動は、中国における現在飲酒者の中で流行といていい割合に達しており、危険飲酒行動を減らすための文化的に適切な公衆衛生戦略が必要である。	